

令和5年度 第1学年 学年経営方針

学年主任 生井 晋太郎

1 生徒数 男子95名 女子74名 計169名

2 学年指導目標

「一步一步」

- ・一つ一つの課題に粘り強く、しっかりと取り組んでいく。
- ・できることを増やしていき、少しずつでも成長に繋げていく。
- ・失敗を恐れずに挑戦する心を持ち、お互いに支え合いながら自律的・協働的な集団に成長していく。
- ・課題をみつけ、主体的に自ら学ぶ姿勢を身に付ける。

3 指導の重点

<生活面>

- ① 言葉遣いや聴く態度などに気を付けさせ、温かいコミュニティを築かせる。
- ② 「挨拶」「時間を守る」といった基本的な生活習慣を身に付けるとともに、人に感謝する気持ちを忘れないようにし、心の成長を図る。
- ③ 倫理観を育て、善悪の判断ができる人材づくりを目指す。
- ④ 「他人を傷つけない」「嘘をついてごまかさない」ということを念頭において生活し、正直な人に育つようにする。

<学習面>

- ① チャイム着席や挨拶、授業準備などを徹底し、落ち着いて学習できる規律ある雰囲気をつくる。
- ② 計画性を育て、学習目標を認識させる。
- ③ 分からないことをそのままにさせずに粘り強く課題に取り組む気持ちを育てる。
- ④ 学ぶ意欲や好奇心を刺激するような授業や活動を提供する。

<進路面>

- ① 将来の自立にむけて必要なスキルの習得や知識の構築を図る。
- ② 職業調べを通して様々な仕事があることを知り、実際に働くことのイメージをもたせる。

4 学年経営の方策

①教員間の共通理解

- ・学年が一つのチームとなって日々の指導にあたる。
- ・教員同士の連携を密にし、「複数対応」「指導のタイミングを逃さない」という意識で行う。
- ・午前起きたことは昼までに、午後起きたことは生徒がいる内に情報共有を必ず行う。

②生徒指導

- ・基本的には担任がクラスの生徒指導を担うが、男女の性差については臨機応変に対応する。
- ・生徒一人一人を大切に、支援が必要な生徒に対しては学年全員で対応する。
- ・必要に応じて毅然とした態度で生徒の課題に向き合う。
- ・学年や教科、部活動の垣根を超えた教員間の連携とご家庭との連携を図り、生徒への声かけに生かす。
- ・「わすれないぞう」（連絡帳）の一言記入欄を活用し、生徒の心身の状況を見取り声かけに生かす。
- ・問題発生時には、学年全体で情報を共有し、生活指導主任や管理職と相談して対処する。